

# 瑞穂区革新懇ニュース★・ 2008年5月

発行責任者： 見崎徳弘 =瑞穂区神前町1-68-2 (TEL・FAX: 052-841-8302)

瑞穂区革新懇がスタートして1年5ヶ月。結成当時は「私の任期中に憲法を変える」と言い切った安倍晋三首相の鼻息が荒く、国民多数の反対を押し切って教育基本法の改定が強行されるなど大変な時期でしたが、いま国会はすっかり様変わり。与党=自民・公明両党は、悪名高い「うば捨て制度」=「後期高齢者医療制度」への怒りの爆発をはじめ、「こんなひどい政治は変えなければならない」という国民世論に立ちすくんでいます。

こういうときこそ「瑞穂区革新懇」(正式名称=平和・民主主義・生活向上のために政治の革新をめざす瑞穂区の会)の出番です。頑張りましょう。

## 「革新懇に期待する」—結成から1年が経って

事務局・会計担当 山形敦子(弥富町在住)

瑞穂区に革新懇が出来て1年が経ちました。革新懇が出来る前は、いろいろな民主団体が多様で魅力的な活動をしていても、あまりその姿が伝わって来ず、連携もあまり取ることが出来なかったように思います。

しかし、革新懇ができてから横の連携も密になって、区内の様々な活動が伝わってくるようになり、それぞれの活動のスケールが、より大きくなったように思います。

県革新懇の「6・3講演と音楽の夕べ」=6月3日(火)の品川正治氏(経済同友会終身幹事)の「このままでいいのか!日本——財界人の直言」という講演とピアノとバイオリンのコンサートも楽しみです。

## 4月・5月の主なニュースと今後の予定——

### ● 「後期高齢者医療制度」反対ひろがる —中止・撤回へさらに運動を!

4月~始まった「うば捨て=後期高齢者医療制度」への批判がどんどん大きくなっています。全国47都道府県中27の医師会が反対・慎重意見を表明してさらに広がる気配だとか、岸信介・佐藤栄作の地元で「自民党の金城湯池」と言われた衆院山口2区の補選(4/27)で自民党が勝てなかったのは有権者の怒りの表れだとか言われ、いまや自民党内部からも「このままでは自民党がつぶれる」と悲鳴が上がっています。

野党4党は改めて中止・撤回法案を出すとか。私たちがさらに声を上げましょう。

## < 「うば捨て制度」は中止・撤回を！ >

→ 次のように、社保協や区労連、年金者組合などの署名・宣伝行動に革新懇も協力して取り組みます。

- ① 5月10日（土）13時～14:30 新瑞橋で。／瑞穂区労連の仲間といっしょに。
- ② 5月13日（火）10時～11時 八事興正寺で。／愛知社保協や天白・昭和・瑞穂の年金者組合の仲間といっしょに。
- ③ 署名を集めていただける方は、連絡してください。  
→ 年金者組合の尾鍋さん（Tel：851-3977）、森下さん（Tel：833-1320）まで。

## ● 「憲法と平和を守る」行動と世論が高揚／もっともっと広げよう

4月～5月は「憲法と平和を守る運動」も広がり「九条の会」が全国で7,000を超えたとのニュースも飛び込みました。私たちの仲間もそれぞれの持ち場で頑張りました。簡潔に紹介します。

### ① 「4. 9 全国一斉宣伝」（憲法共同センター呼びかけ）、愛知=113ヶ所で全国一！

→ 瑞穂区も朝=堀田で5人（東海共同）、／昼=田辺公園で16人（九条の会）、／夕方=新瑞橋で15人（東海共同、年金者組合、自治労連名ブロ、国道支部などの共同）と頑張りました。桜が散り始めた田辺公園前では、札幌や茨城の人も通りかかって快く署名してくれました。

\* 「みずほ九条の会」は5月9日にも桜山で署名・宣伝行動を行いました。

### ② 名古屋高裁で、「イラクでの空自の活動は憲法違反」の画期的判決！（4/17）

さる3月20日に5周年を迎えたイラク戦争は、当のアメリカでも「大義のまったくない、間違った戦争」という評価が定まってブッシュ大統領への批判は高まる一方ですが、ブッシュに追随して（航空）自衛隊のイラク派兵を今も続けている自民党政府に鉄槌を下す画期的な判決が出ました。

3千余人の原告が国に「自衛隊のイラク派兵差止め」を求めた裁判の控訴審で、4月17日、名古屋高裁（青山邦夫裁判長）が私たち控訴人の請求を却下する一方、「自衛隊の活動、特に航空自衛隊がイラクで現在行なっている米兵等の輸送活動は他国の武力行使と一体化したものであり、イラク特措法2条2項、同3項、かつ憲法9条1項に違反する」と断罪、憲政史上初の「違憲」判断を下したのです。

当日は、原告団長の池住さんも内河弁護団長も感激して泣いたのが印象的で、私も「憲法9条は生きている」と実感しました。「海外派兵恒久法」を狙っている勢力には大変な打撃でしょう。ぜひ「判決学習会」をやりたいですね（見崎徳弘）

③ **5月3日「憲法フェスティバル2008in あいち」、4千人の参加で成功。**

愛知憲法会議が主催し、県芸術劇場コンサートホールを借り切った「フェスティバル」は昼・夜ともほぼ満席、4千人の参加で大成功。新聞各紙も写真付で報道しました。

当日はまず講演（昼：香山リカ「いま、憲法を変えること」の精神分析、夜：森英樹「現在を解き明かす憲法の心—改憲は遠のいたか？」）を聴いた後、名フィルと330人の市民合唱団による交響曲＜五月の歌＞（指揮＝外山雄三）を鑑賞、憲法を守るたたかいへの気持ちを新たにしました。たくさんの方にチケットを買っていただき、感謝しています。ありがとうございました（見崎）

④ **「みずほ九条の会」3周年のつどい（5/24博物館）へ参加を**

「みずほ九条の会」が5月24日（土）博物館の講堂で「3周年のつどい」を開きます。第1部（13：30～）は野の花合唱団による合唱やアニメビデオ＝「世界人権宣言」「おこりじぞう」の上映、第2部（15時～）は「総会」です。

入場無料で誰でも歓迎です。とくに、核兵器の恐ろしさと平和の尊さを伝える「おこりじぞう」（山口勇子原作の人形アニメ）などは親子そろって見たいもの。ぜひそろってお出かけください。

→ 連絡先：尾鍋昭彦＝851-3977／山崎雅子＝872-6398／湯浅道子＝852-5732

⑤ **「手作り文化を楽しむ会」（9月28日？予定）第1回実行委員会**

瑞穂区には女性有志による「霜月の会」という会があり、これまで身近な人たちに呼び掛けて映画会とか平和を願う写真展などを開いてきました。

その会が、今年は秋に「平和と文化を愛する区民が寄り合い、暮らしを彩る手作りの文化を持ち寄って交流しあう＜手作り文化を楽しむ会＞をやりたい」と考え、そのための**第1回の実行委員会を、5月17日（土）14時～、「たまりば ひよこ」（尾鍋宅。TEL：851-3977）で開くよう、団体・個人に案内しています。興味・関心のある方はのぞいてみてください。**

⑥ **核兵器廃絶のために、「平和行進」（瑞穂区＝6月8日）に参加しましょう**

初夏になると原水爆禁止・核兵器廃絶を訴えてヒロシマまで歩く「平和行進」がやってきます。瑞穂区では「瑞穂区うるおいのある町づくりをすすめる会」（事務局＝東海共同印刷・関さん）が中心になり、ひろくみんなに呼びかけて取り組まれます。5分でも10分でもOK、可能な方はぜひ参加を！

6月8日（日）瑞穂が丘公園（通称：洲山公園）9：30集合、10時スタート  
行進は、瑞穂通り～昭和区役所～若宮広場（集会・解散）

● **5月25日（日）愛知県母親大会（10時～ 県勤労会館）が開かれます**

原水禁運動の生みの親ともいえる母親大会、「生命を生み出す母親は／生命を育て／生命を守ることを望みます」をスローガンとし 54年の歴史を刻む日本母親大会が、今年名古屋で開かれます（7/26～27、ポートメッセなごや他）。

それに先立って県母親大会が5/25、つるまいプラザ＝県勤労会館で開かれます。

- ・午前中＝9つの分科会、
- ・全体会＝（午後1時～） 立命館大学の安齋育郎教授による講演  
「だまし博士のだまされない知恵－詐欺から戦争」

\* 問合わせは、新婦人瑞穂支部の土井ちづ子さんまで →（TEL：834-1926）

● **6月3日（火） 県革新懇主催「6. 3講演と音楽の夕べ」（18:30～）**

- ・会場＝中京大学文化市民会館プルニエホール（金山・旧名古屋市民会館中ホール）
- ・講演＝品川正治さん（経済同友会終身幹事）

「このままでいいのか！日本 — 財界人の直言」

佐々木憲昭さん（日本共産党衆議院議員）

「いま政治は変えられる — 国政革新を語る」

- ・音楽： 守光明子さんのピアノと、小林加代子さんのヴァイオリン
- ・参加協力券＝ 1,000円（好評発売中。必要な方は事務局までご連絡ください）

● **瑞穂区革新懇の第5回公開企画：公立保育園の民営化は何をもたらすか**

「子どもは街の宝もの — 保育に押し寄せる公的責任はがしの波を、  
みんなの力でとどめよう」（仮題）

先月のニュースでお知らせした上記の企画の日程とメイン講師が決まりました。

なお詳細は、次回の世話人会（6月5日＝木、19時～ 名プロセンター）で協議して具体化しますが、一応、日程だけ押さえておいてください。

日 時： 7月3日（木） 18:30～20:30（予定）

会 場： 瑞穂生涯学習センター

メイン講師： 星が丘保育園園長 羽根由美子さん

＝ 一昨年までは直来保育園にみえた方で、保育の関係者にはよく知られた園長さんです。

<お知らせ・お願い>

→ **次世話人会＝6/5（木）19時～ 名プロセンターです。**

世話人の皆さん、ぜひお出かけください。

**<関連> 一冊の本＝『市民はいかにして戦争に動員されるか』の紹介を兼ねて**

「6. 3 講演と音楽の夕べ」やそのメイン講師・品川さんの紹介は先月のニュースで書きました。今回は別の角度からもうひとこと、付言します。

中央「九条の会」の事務局長が小森陽一という東大教授だというのはよく知られていますね。ファンも多いと思いますが、その小森さんのお母さんは小森香子という詩人で、「青い空は」の作詞をした人だということを私は2～3年前に知りました。さらに今年になって私は、新日本出版社から出た小さな本＝『市民はいかにして戦争に動員されるかー戦争史の底辺を歩んで』を買って読み、その著者・小森良夫氏が陽一さんのお父さんであること（最後の「解説」は息子の陽一さんが書いている）。長く共産党の専従を務め、この本を書き上げて死んだこと。その小森良夫さんと品川正治さんが3高～東大時代に親交があったこと。その縁でこの小さな本の、やや長めの序文を品川さんが書いていることを知りました。

この本がいい本なんです。品川さんの序文も、小森さんの戦争とともに歩んだ自分史と若い人たちへの訴えも、そして息子・陽一さんによる最後の「解説」も。

暇があれば、ぜひ読んでみてください。長く財界の中枢にいた品川正治という人がなぜ革新懇の代表世話人を務める気持ちになったのか、その秘密もわかりますよ。